

2013-B					
拠出金・基金の名称		国連大学拠出金 (1. 持続可能な開発のための教育の10年構想事業) (2. SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ実施事業) (3. コベネフィット型都市開発情報整備費)			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 国連大学(UNU)					
【所管官庁担当局課・室名】 環境省 地球環境局 国際連携課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 1. 持続可能な開発のための教育の10年構想事業 2. SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ実施事業 3. コベネフィット型都市開発情報整備費					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レート	ODA率(%)
平成25年度	409,904	-	-	円建て	0
平成24年度	429,904	-	-	円建て	0
平成23年度	429,981	-	-	円建て	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 国連大学は総会決議によって我が国に本部を置くことが決定された国連機関。日本との繋がりを重視し、日本が重視する平和構築やアフリカ支援等の分野において日本政府と連携して国際的な発信を行っているほか、我が国の大学・研究機関、地方自治体、民間企業と積極的に連携しながら事業の展開に努めている。平成22年9月に開始した大学院プログラムにおいて、国連機関自らが提供する質の高い人材育成プログラムであり、日本人学生にとっても国際機関職員へのキャリアパスとして役割が期待される。国連機関としての外部監査、内部監査を実施しており、右結果を反映した改革を行っている。平成19年には官房機能の一部をマレーシアに移転し、大幅な経費削減を実現。					